

第 49 回六甲全山縦走大会

旗振支部 Y 生

毎年行っている当会一大イベント六甲全山縦走大会も今回で 49 回を数えた。先人の遺徳を称え、また会員の日頃の成果を発露する場としてここまで継続できたのも会員の皆様の熱い思いのたまものだと思います。

とは言いながらも会員の高齢化などから今回の参加者は 30 名と以前の参加者に比べると少し寂しい、でも参加の皆さんは元



気一杯。

今年の春先は天候不順だったが、この日 3 月 22 日は、絶好の山歩き日和。いつものように塩屋駅に集合、6 時 30 分スタート。スタート時はいつものことながら万全を期したつもりだが今日の体調は？宝塚まで足腰は大丈夫か？など期待と不安が交錯する。手始めは須磨の山々で足慣らし。須磨アル



プスの景観は素晴らしい。

行ったことないがアルプスと見紛うばかりではないだろうか。それに天気も上々であっては、なおさら。禅昌寺への椿ロード、急峻の高取山を登りきると安井茶屋でお茶の接待を受け一息入れる。

前半の関門、菊水山着 11 時 10 分。ここまで 7 名の方がリタイヤされたとのこと。前半は独立峰が多く、それにこの日は急に



暑くなったので体調を崩されたのだろうか。

菊水山出発時から私が先導役を仰せつかった。最後尾との離隔、また工程のタイムスケジュールとにらめっこしながら進む。残ったメンバーは何れも健脚揃いの方々ばかりで全体が最後まで間延びせず行動できたのは非常に良かった。

この後、市ヶ原での昼食タイムをとり、難関の天狗道をものともせず摩耶山、そして記念碑台下へ。ここでは高取支部の北島支



部長に熱々のコーヒーをご馳走になり、息

を吹き返した。

記念碑下通過が 16 時、さすがにこの時刻ともなるとひんやり肌寒くなる。それにあんなに晴れていたのに気が付くと黒雲が張り出してきた。

最後のチェックポイント一軒茶に定刻通り 17 時 15 分着。ここを過ぎると下り一方の山道。日暮れて帰りの山道は、気がせくのかつい足早になるが、足元に注意して進む。健脚揃い方々からか 80 分の工程を 60 分で大平山着。

さすがにこの地点で暗くなり点灯。あんなに良かった天気が夕刻になってパラパラ雨が落ちてきたが本降りには至らずゴール地点では上がっていた、ラッキー。改めて山の天気の変わりやすさを再認識。大平山か



ら最後の力を振り絞りゴールへ急ぐ。

女性会員一人を含む 21 名が、塩尾寺下 17 時 25 分ゴール。気が付くと予定より 1 時間も早くゴールしていた。

天気に恵まれそれに多くの方にサポートしていただいていたいつもより疲れを感じない楽しい六甲全山縦走完走ができたことに感謝、感謝。

来年は 50 周年を迎えるとのこと、多くの方に参加していただいていた素晴らしい大会となることを祈念して今回の報告とします。